

# 議会だより

No. **180**  
平成30年4月発行



入学式の様子（上：三島中学校 右：三島小学校）



## 目 次

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| ●町長挨拶…………… P2～4  | ●議員研修会…………… P20    |
| ●3月定例会…………… P5～7 | ●議会の経過・日程…………… P21 |
| ●一般質問…………… P8～20 | ●編集後記…………… P22     |



**町長挨拶**  
矢澤 源成

平成三十年第一回三島町議会定例会にあたり、議員各位の御出席を賜り開会できますことに敬意と感謝を表するものであります。

今年の冬は十二月中旬に初冠雪があり、年末までの積雪は少なかつたものの年明けの一月下旬から連日の降雪により多いときは一日六十センチを超える積雪となり、町民の皆さんは今年の冬も大変な思いで過ごされたことと存じます。高齢者の多い当町の克雪対策は重要であり、安心安全な暮らしを守るため、最重点課題として取り組んでいきます。

このような中、二月十日

には恒例の「第四十六回雪と火のまつり」が実施され、町内外から大勢の来場者が見えられ、盛大に開催されましたことに関係者皆様のご努力・ご協力に改めて感謝申し上げます。

## 行政諸般の御報告

### 第一点 豪雪対策本部設置

一月二十二日から二十一日にかけて一八七センチの降雪があり、積雪が一二〇センチに達したことから一月二十六日に豪雪対策本部を設置し、地区の除排雪の状況や民生委員の方のご協力をいただきながら高齢者宅の見守り等の対応に当た

ったところです。

また一月二十七日には浅岐・間方地区で四時間ほどの停電が発生しましたが、幸いにも大きな被害の報告はありませんでした。

### 第二点 地区座談会

十二月四日から開催しました地区座談会は、降雪期に開催したことにより町民の皆さんにはご苦勞をおかけしました。座談会は一五九名の町民の方に出席いただきましたが、次年度は各層から多くの出席者があるように開催の方法、日時等について検討したうえで進めていきますので、ご理解と御協力をお願いします。

## 平成三十年度施政方針

昨年十二月、国の平成三十年度予算案が閣議決定されました。

一般会計の総額は、二十九年度比〇・三パーセント増で、歳出予算の総額は九十七兆七千二百二十八億円と過去最大となり、我が国経済は、「新・三本の矢（戦後最大の名目GDP六百兆円、希望出生率一・八、介護離職ゼロ）」をはじめとする施策の実施により、GDPが名目、実質ともに増加しており、就業者数の増加、賃上げ等雇用・所得環境は着実に改善し、好循環が生まれています。その

効果は大企業、大都市にとどまっています。地方の発展に結び付けるには、目指している分権型社会の実現からも、財政基盤の強化が必要不可欠であり、安定的な自主財源の確保を図っていかなくてはなりません。

その一方で、経済の先行きについては、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等に留意する必要があるとあります。

当町の財政は、継続して取り組んできた行財政改革や震災関連の各種交付金等により、地域振興を図る各種事業を実施しながらも、財政調整基金をはじめ減債基金や公共施設整備基金等

への積立も行い、財政健全化を示す各種指標においては改善されてきました。しかしながら、自主財源に乏しく地方交付税や各種補助金・町債に依存している状況に変わりはなく、公共施設の老朽化に伴う維持・修繕経費や行政サービスの充実に伴うランニングコストが増加傾向にあります。国民健康保険・介護保険や後期高齢者医療などは絶対数の減少により予算規模が減少しているもののこれら社会保障関係経費の割合は予算全体からみれば高い状況が続いています。

経常経費の抑制等の歳出、両面で健全化に努めなければならぬと考えています。

平成三十年度は、第四次三島町振興計画「後期基本計画」の三年目であるとともに、三島町まち・ひと・しごと創生「総合戦略」の四年目となることから、五ヶ年の目標、施策の実現に向け、「結果を出す」と言う不退転の覚悟で取り組んでいきます。

「安全・安心な基盤づくり」については、住民の生命財産に係わる防災対策をはじめ、住民生活の基礎となる社会保障関連の福祉事業の推進や社会生活基盤の充実を図り、さらには、過疎・少子・高齢化の進む現状に歯止めをかけるため、町営住宅整備をはじめとした住環境の整備や各種補助制度を活用した雇用対策、特別支援員等による教育環境の充実を継続し「若者定

住対策」を推進していきます。平成二十四年度に加盟しました「日本で最も美しい村」をキーワードとし、住民主体の「美しい地区づくり」を推進し、町民参加による町づくりと行財政改革や組織の見直しなどの「推進体制の整備」についても今後重点的に取り組んでいきます。

これら第四次三島町振興計画の基本構想に掲げた四つの柱に基づき、振興計画のテーマである「住みたい、住み続けたいふるさと」の実現に向け、各職員や組織間の横の連携はもとより、町民と町が一体となった協働の町づくりを一層進めていきます。

入に占める割合は七・二パーセントあまりで、財政の脆弱性が示されました。歳入の柱となる地方交付税については、前回の国勢調査の結果も踏まえ、歳入欠陥を防ぐためにも厳しく見込んだところです。

歳出面では、各種公共施設の老朽化に伴う維持補修費が増加傾向にあり、公共施設等総合管理計画に基づき、計画的な維持管理に努めていきます。

できました行財政改革や基金積み増し等の効果もあり、各種の事業実施のうえにも財政指標は良好な数値を示しているほか、財政調整基金をはじめとする各種基金残高においても一定の額を確保しているところで

す。しかしながら、国の方針一つで町の財政状況が大きく左右されることから、基本的スタンスは厳しい財政予測のうえに立つものです。

平成三十年度事業について個々に申し上げますと、雇用の場の確保として、緊急雇用創出基金事業により安定した雇用につなげ、町単独事業の起業、雇用創出支援事業の活用を促し、町内の雇用を増やすように努めていきます。また現在、県補助の採択を受けるべく申請しています生活工芸館へ木質バイオマス冷暖房システムを導入し、地域資源を活用した再生可能エネル



ギーの導入を進めていきます。

農業では、桐の里産業株式会社において、昨年度の不祥事もあり、事務関係を職員が行うなどの対処をし、農作業の進捗を社員と逐次打合せを行い進めてきた結果、水田はほぼ順調に作業できたところです。しかしエゴマ等の作物については計画通りの収穫にならなかった作物もあり、次年度へ向けて改善する作業の確認したところです。今年度は、新たに執行役員が就任し、社員についても最低限の確保をしてスタートします。町民の信頼に応えられるような組織の充実を図り、水田事業を最優先とした作業を実施し、併せてエゴマの生産加工にも取り組み、町の重要な生活基盤である農地を守り、農業の新たな担い手となる若者の受け皿となるような強固な組織運営を進めていきます。

森林整備では、大石田地区の森林再生事業を継続し、新たに西方地区の計画策定に入りながら、確実に山林の整備を進め、森林資源を有効に活用すべく「林業施策計画」を着実に実行していきます。

会津桐の振興では、三島産会津桐のブランドの確立を目指し桐専門員を配置し一年を経過しましたが、先日、桐専門員の成果報告会が開催され、大勢の方に聴講していただきました。これほど多くの方が会津桐に関心を寄せていることに少し驚きましたが、今後は生産・生育方法を確立し、昔のように町民の皆さんが希望をもって植栽できるように取り組んでいきます。

有害鳥獣対策については、多くの地区で鳥獣被害の現状を座談会の席上で話を聞いてきました。その対策として、三島町鳥獣被害防止対策協議会が県補助を

受け、くくり罠や電気柵、センサーカメラなどを導入し対策を進めます。また、個人での電気柵購入や狩猟免許取得に係る経費の一部を支援する補助事業を行っています。

町営住宅整備については、老朽化が進む上ノ原住宅の建て替えを県の移住定住仮設住宅提供事業を活用し、無償で資材の提供を受け、一棟二戸建てを三棟六戸を建設し、移住・定住の促進を図っていきます。

子育て環境の面では、小中学校の学校完全給食を四月より開始します。保育所においては、保育時間の延長や第二子の保育料半額を継続し、複式学級支援事業の強化、特別教育支援員、外国語指導助手の単独配置等も継続して取り組んでいきます。

安全・安心基盤づくりでは、地区集会施設の耐震改修や大登地内の消雪工事、

大登、桧原、大石田地区の簡易水道改修工事等の事業を実施していきます。また、路線バスを含めた町内の公共交通体系を全面的に見直し、今後増え続ける交通弱者や観光客への利便性の向上を図るよう見直しを図っていきます。

その他、詳細につきましては予算の中で説明させていただきます。以上、平成三十年度を迎えるにあたり、所信の一端を申し述べましたが、議員各位の御理解と御支援を重ねて御願い申し上げる次第です。



年末に行われた地区座談会

# 3月定例会のあらまし

3月定例会は5日から9日までの5日間を会期に開催され、三島町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例をはじめ、三島町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例、沿道区域指定の基準に関する条例、三島町空家等の適正管理に関する条例の制定のほか、三島町介護保険条例の一部を改正する条例、早戸交流拠点施設設置条例の一部を改正する条例、三島町観光交流施設設置条例の一部を改正する条例、三島町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例、指定管理者の指定、平成29年度一般会計及び特別会計補正予算、平成30年度一般会計及び特別会計予算など、町長より提出された議案を審議し、すべて原案通り可決、同意しました。

一般質問には、7人の議員が登壇し、町政全般について質しました（8頁～20頁に掲載）

## 【平成30年度当初予算】

（単位：千円）

| 会計区分            | H30予算額    | H29予算額    | 対前年比較増減 |
|-----------------|-----------|-----------|---------|
| 一般会計            | 2,321,000 | 2,588,000 | △10.3%  |
| 国民健康保険特別会計      | 199,461   | 288,850   | △30.9%  |
| 簡易水道事業特別会計      | 206,646   | 225,297   | △8.3%   |
| 路線バス事業特別会計      | 28,707    | 28,330    | 1.3%    |
| 農業集落排水事業特別会計    | 25,596    | 27,400    | △6.6%   |
| 介護保険特別会計        | 430,545   | 468,872   | △8.2%   |
| 戸別合併処理浄化槽事業特別会計 | 41,216    | 39,556    | 4.2%    |
| 後期高齢者医療特別会計     | 29,024    | 31,724    | △8.5%   |

### ○一般会計予算の投資的事業の主なものは次のとおり○

- |                       |                    |                 |
|-----------------------|--------------------|-----------------|
| ・ 集会施設耐震改修・改築(川井・桧原)  | ・ 食鳥処理施設改修         | 5,811千円         |
| 58,000千円              | ・ ふくしま森林再生事業(森林整備) |                 |
| ・ 大石田集会所新築工事測量設計      | 10,000千円           | 38,200千円        |
| ・ 消防指揮広報車購入           | 3,500千円            | ・ 老人休養ホーム給排水管改修 |
| ・ 生活工芸館再生エネルギー利活用PR改修 | 40,000千円           | 16,500千円        |
|                       | ・ 寺沢四ツ田線消雪整備       | 216,150千円       |
| ・ フォークリフト購入           | 3,500千円            | ・ 中平団地住戸改修      |
| ・ そば専用コンバイン購入         | 3,100千円            | 35,160千円        |
|                       | ・ 上ノ原団地整備          | 163,080千円       |
|                       | ・ 消防積載車購入(間方班)     | 7,000千円         |

## 【平成29年度補正予算】

(単位：千円)

| 会 計 区 分         | 補正予算額   | 補正後の予算額   |
|-----------------|---------|-----------|
| 一般会計            | 15,301  | 2,972,361 |
| 国民健康保険特別会計      | 75      | 319,766   |
| 簡易水道事業特別会計      | △31,497 | 218,331   |
| 路線バス事業特別会計      | △44     | 28,395    |
| 農業集落排水事業特別会計    | －       | 28,178    |
| 介護保険特別会計        | △29,540 | 459,212   |
| 戸別合併処理浄化槽事業特別会計 | △2,618  | 48,986    |

## ○一般会計補正予算の主なものは次のとおり○

## 【歳入関係】

|                        |            |
|------------------------|------------|
| ・ 地方創生拠点施設整備交付金（国庫補助金） | 11,880 千円  |
| ・ 農林水産施設災害復旧費補助金（県補助金） | 18,657 千円  |
| ・ 道路橋梁費委託金             | 13,626 千円  |
| ・ ふるさと納税               | 2,585 千円   |
| ・ 過疎対策事業債              | △35,500 千円 |
| ・ 一般補助施設整備等事業債         | 11,800 千円  |

## 【歳出関係】

|                                            |           |
|--------------------------------------------|-----------|
| ・ 減債基金元金積立金                                | 42,000 千円 |
| ・ ふるさと納税基金元金積立金                            | 4,723 千円  |
| ・ 工人の館改修工事                                 | 21,600 千円 |
| ・ 道路除雪・施設排雪                                | 32,586 千円 |
| ・ 林業施設災害復旧費工事<br>（林道大山美坂高原線・林道大林線・林道大窪矢柄線） | 20,422 千円 |

## 【可決された条例等】

## 三島町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について

地方自治法の規定に基づき、職員の任用、人事評価、給与、勤務時間等の公表に関する必要事項を定めるもの

## 三島町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について

介護保険法の規定に基づき、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定めるもの

### 沿道区域指定の基準に関する条例の制定について

道路法の規定に基づき、町が管理する道路について行うことのできる沿道区域の指定基準を定めるもの

### 三島町空家等の適正管理に関する条例の制定について

空家等の適正な管理に関して必要な事項を定めることにより、空家等が管理不全な状態での倒壊等の事故等を未然に防止し、安全で安心な暮らしの実現ができるよう定めるもの

### 三島町介護保険条例の一部を改正する条例

第7期三島町介護保険事業計画に基づき、介護保険の保険料率に関して改正するもの

### 早戸交流拠点施設設置条例の一部を改正する条例

湯治棟改築工事に伴い、工事費を基に施設使用料の改定を行うもの。また、改築により湯治棟の施設機能が向上したことにより湯治棟施設利用料についても改正を行うもの

### 三島町観光交流施設設置条例の一部を改正する条例

電動機付自転車蓄電システムを設置することにより、施設機能が強化され、この工事費を使用料算定基準に加えることによる施設使用料の改正を行うもの

### 三島町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

道路法施行令の道路占用料の改正に伴うもの

## 三島町固定資産評価委員会委員の選任同意について

次の方が同意されました  
大石田 飯塚 国英 氏

## 指 定 管 理 者 の 指 定

以下の施設が指定になりました

- |                                                 |                                                        |
|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| ○三島町生涯学習センター（カタクリ）<br>合同会社西方カタクリの会<br>代表 小柴 ヨシノ | ○三島町そば加工施設<br>株式会社みしま農産<br>代表取締役 五十嵐忠義                 |
| ○三島町高齢者生活福祉センター（福寿草）<br>社会福祉法人みしま<br>理事長 秦 千代栄  | ○三島町農林水産物処理加工施設（山菜加工場）<br>会津よつば農業協同組合<br>代表理事組合長 長谷川一雄 |
| ○三島町高齢者自立支援住宅（ひまわり荘）<br>社会福祉法人みしま<br>理事長 秦 千代栄  | ○三島町食鳥処理施設<br>有限会社会津地鶏みしまや<br>代表取締役 小平 和広              |
| ○三島町多目的集会施設（ひだまり）<br>社会福祉法人みしま<br>理事長 秦 千代栄     | ○三島町木材加工施設（会津桐タンス）<br>会津桐タンス株式会社<br>取締役 廣瀬 充是          |
| ○三島町情報物産館（三島宿）<br>有限会社マルシェみしま<br>代表取締役 布川 孝平    |                                                        |



# 一般質問

## 七人の議員が問う



大竹 克昌 議員

### 地区座談会について

#### 答 座談会の日程を配慮するとともに在り方についても検討する

議員 地区座談会は平成

二十九年十二月四日に間方地区から始まり平成三十年一月二十六日の高清水地区で終了しました。町長はじめ副町長、各課の課長、係長多くの役場職員で丁寧各地区の町民の皆様地方創生の進捗と成果、地区要望並びに町政全般について説明いただきました。

日程については各地区に早めに連絡し、多くの出席を呼びかけていますが、どの地区も参加者が少なく、若い方の姿が見られない状

況です。各地区を回り

説明しても参加人数が少なくは意味がないと思います。平日昼

間・夜間の二回開催しています。天候や高齢者のことを考えます

と、年間の日程を調整し十月、十一月の休日の昼間に開催できないものか伺います。

また地区要望は勿論のこと、町全般として同じ内容の質問が毎年

各地区で出されています。例えば、三島町総合戦略三島町人口ビジ

ョン最終目標、高齢化率の低減を図り、老年

人口二人を生産年齢人

口三人で支える社会の実現を目指すとしています。しかし基本方針

では若者世代の人口構成比率を高めると掲げながら、役場職員が町

外に移住するのはどうかと考えます。

また地区座談会で出された町民の方の意見や質問をまとめ、広報

紙に掲載すべきと考えますがいかがか。

町長 議員ご指摘のよう今年度の地区座談会は十二月より開始しました。年末の寒い時期と降雪期の開催となり

町民の皆さんに御苦労をおかけすることになり反省しています。今

後は座談会の日程には十分配慮すると共に座談会の在り方について

も検討し、より多くの町民の方が参加できるよう対応を図っていき

ます。休日の開催については、職員の休日勤務の対応などもあるこ

とから出来る限り避けたいと考えます。

今年度の座談会は地方創生の進捗と成果を議題として開催しました。地区によつては若

者定住を進めると言い

ながら、役場職員が町外に住んでいるのでは

町民がこの計画を一緒に進めようと思わなくなる。有事の際も速やかに駆けつけることが

町民の安心・安全につながるのではないかと

言うご意見も確かにいただいています。私自身も職員は町内で居

を構え町民に寄り添った仕事をしてほしいと伝えていますが、個々の事情もあり一概に強

制することはできませんが、今、申したこと意識して職務に当た

るよう今後も指導して

いきます。

また地区座談会での意見や町全般の内容については、広報誌等で周知すること必要と考えますので、出来ることから進めていきます。





# 農業法人桐の里産業株式会社について

## 答 エゴマ栽培と搾油による商品化などによる収益向上を目指す

議員 農業法人桐の里産業株式会社は、町補助金を財源としながら

日付で就任いただきま

いて昨年末に町内農業

今後は、社員とのコミ

純利益では、第一期百

助金を財源としながら

した。五十嵐氏は役場

関係法人二団体と大規

ユニケーションを大事

二十七万一千二百六十

県の事業補助金を受け

を退職した後、NPO

模耕作認定農業者の方

にしながら収益アップ

六円の損失、第二期百

設立した会社です。農

法人を立ち上げ、農業

を招集し桐の里産業株

を目指した業務に当た

二十万六千八百円の損

地を守るを事業目標に

の担い手となり、米や

式会社の運営とあわせ

つていただきます。な

失、第三期二百六十六

条件の厳しい三島町の

蕎麦の栽培のほか酒造

今後の当町の農業をど

お五十嵐氏は当面、自

万二千四百二十円で、

水田管理を運営すると

りや手打ち蕎麦の販売

のようにしていくか意

を継続しながら具体的

三年間の利益は十九万

いうことですが、平成

などに取り組んでいま

力をしてながら今後の農

業振興を進めていくと

九百八十六円となつて

二十九年度の運営はい

度は認定農業者とな

いう意見集約に至りま

と相談しながら進める

額等が異なるため、純

かがなものだったのか

り、現在は農業委員も

した。その後、先月中

こととしています。

利益の比較だけで一概

伺います。

務めています。

旬に五十嵐氏より「前

回の意見交換から考え

には計れない面もあり

①社員募集をしていた

ては、昨年春の不祥事

による前任者の解雇

社員募集については

ます。

ようですが執行役員、

後は、町内からの人選を

式会社と町農業振興の

二月中旬までに二名の

応募があり、二月二十

たのか。

基本として当たりまし

のために尽力したい」と

集しており、作業内容

比較しますと、第一期

②桐の里産業株式会社

が始まってから今まで

の意思表示があり、役

を考えますと今年度と

百六十七万二千三百三

の決算収支を示し、平

さる方がいなかったた

場職員時代の政策形成

同数程度の社員数が必

七円、第二期六百九十

成三十年度の事業内容

不在のまま社員と役場

や、農業及び商品化等

において経験のある

八万五千二百九十七

を伺う。

担当課の連絡のもと業

務を行ってきました。

制が決まり次第お知らせ

円、第三期九百七十七

町長

①大谷地区の五十嵐政人氏に執行役員

を依頼し、二月二十一

②決算書損益計算の

万三千九百円で、特に

十嵐政人氏に執行役員

を依頼し、二月二十一

そのような状況下にお

方ですので適任と判断

米生産において昨年初

を依頼し、二月二十一

そのような状況下にお

ることとなりました。

せします。

がったことにより、第





青木 喜章 議員

## 人口減少対策について

### 答 出産祝い金の拡充は考えていない

議員 第四次三島町振興計画後期基本計画では十年後には町の人口

が千人を割り込むと予想されています。現在の町の人の流れを見ま

すと減少のスピードが早いように感じられます。福島県自体が減少傾向にある中、三島町もやむを得ないとは言え減少スピードを少しでも遅くするための具体的な取り組みについて伺います。

①関係人口の再構築として、特別町民制度とふるさと納税の一元化、ふるさと運動の再構築を検討するとしていますが、他に関係人口として各地の三島会の充実、さらには友好

都市、姉妹都市、SNSによる発信等考えられると思いますが具体的に、早急な取り組みを伺います。

②平成三十年度の移住、雇用に関する地域おこし協力隊の募集については六名程度予定していますが、会津桐タンス工場への募集も併せて行うべきと考えます。製品の開発、試

作、販路開拓に力を入れるには現在の人数、体制では厳しく、桐専門員を置き桐の植栽に力を入れるなど加工体制への挺入れも重要と思ひ伺います。

③雇用の場の創出と言つことで、ふるさと荘の改築について伺

ます。先の振興計画審議会において修繕の方

向が示されたが設備関係の故障で臨時休業が時々あり、建物自体の

老朽化も目立っています。早戸温泉の湯治棟が完成したこともあ

り、これからはふるさと荘の改築に向けた検討委員会を早急に立ち上げ進めるべきと考え

てはと考えますが、いつてはと考えますが、い

かがか。

⑤雇用の維持という観点から原子力災害対応雇用支援事業について伺います。今後も金額、人数は継続される

のか。

⑥地区座談会の総括を伺います。参加率、

時期、内容、新年度への対応など地区それぞ

れにあるかと思われる

すがいかがか。

町長 ①昭和四十九年

から始めた「ふるさと

運動」には特別町民と

して毎年会費を納め、

町づくりに参画してい

ただいています。特別

は、その関わりが希薄

になっていると私自身

も感じています。近

年、このような方々を

「関係人口」などと総

称し、関係性を重要視

していますが、地域づ

くり地域外の人材と

の継続的かつ複層的な

ネットワークを形成す

ることにより、当町と

の関わりを深め、連携

により自律的で継続的

な地域づくりに繋がる

ものと私自身も考えて

いますが、どのような

方法が良いか再構築を

検討している段階で、

具体的な話し合いにな

っていない状況です。

平成三十年度中には方

向性を提示し、議会の

早急に取り組んでいき

ます。

②議員ご指摘の通り、

桐の生産に関しては今

年度から桐専門員を配

置し、桐苗の育成、桐

の成長記録・管理に取

り組んでいます。会津

桐の振興は材料生産だ

けではなく、町内で加

工し製品を販売するこ

とによって経済の地域

循環が発生します。こ

の加工部門は以前、町

が後継者育成に取組み

ました。三島町の特産

である会津総桐タンス

の技術継承という人材

育成の観点から、現在

では後継者育成の制度

がない中で、自分たち

で育てることも必要で

すので会津桐タンス製造部門での地域おこし協力隊の配置は有効であると考え、今後、受

入体制をしっかりと構築し募集に着手したいと思っています。

③議員ご指摘のようにふるさと荘の老朽化は著しく、町としては早い段階での改築を目指していきます。しかし町の財政運営を考え

ますと国県等の補助金の確保が必要と判断します。

ふるさと荘の改築は基本的な方向性や予算規模、運営体制等多くの検討項目があるため検討委員会を立ち上げ、議員の皆さまをはじめ多くの町民の方々からご意見を頂戴し、まとめていきたいと考えます。

一方、改築まで現施設がお客様を迎える施設としてふさわしいものでなくてはなりませんので、老朽化により不具合が生じている設備等に対しては計画性をもって修繕を実施していきます。

④出産祝い金として現在三十万円をお渡ししています。出産費用や子育て費用の一部に

支援を行っています。が、議員ご指摘の二人目、三人目にはさらに多くの祝金をお渡ししてはどうかと言う意見については、効果が見込めるか疑問が残ります。現に保育料は第二子半額、第三子無料と

子育て支援の対策を行ってはいるもののその効果があまり感じられないことからして現時点

での出産祝い金の拡充は考えていません。

⑤国は平成三十年度で原子力災害対応雇用支援事業を終了するとしています。現在、前年度交付額を上限として、前年度同様五名分を申請しています。三

しましたが、時期や開催方法、内容については十分検討していきます。尚、参加者は百五十九名で、分母を全世帯一名出席と仮定しますと二〇・六％、全町民に対しては九・五％となっています。

⑥大竹議員にも答弁

## 役場職員の早期退職について

### 答 国家公務員との均衡等を勘案しながら検討していく

議員 近年、町職員の方が五十八才で退職されているようですが、一般社会では六十才定年、六十五才まで再雇用あるいは六十五才定年、または働けるうちは働いてほしいというところも多くなっています。

また年金の繰り下げの動きもあり、今後労働人口が減ることから仕事の継続という点において最低でも六十才まで、またそれ以上も働いていただいたらいかがです。

現在、条例により六十歳と定まっています。六十歳前の早期退職は近年でなく過去からの慣例で、過去には定員管理計画や人件費の抑制等から職員数の削減を図るうえで早期退職の勧奨を行ってきた経緯があります。議員ご

指摘のとおり労働人口が減る一方で、今まで積み重ねてきた経験と知識を町民のために遺憾なく発揮していただける職員には定年まで勤めていただくよう申し伝えていきます。しかしながら個人の事情もあり、早期退職を願う

方については受け入れざるを得ない状況です。六十五才定年については、国の人事院でも検討に入っていると聞いています。しかし地方公務員法においては「国の職員につき定められている定年を基準

として条例で定めるものとするとありますので、定年引き上げについては、国家公務員との均衡等を勘案して今後検討していきます。

町長 町職員の定年は

町職員の定年は

町職員の定年は

町職員の定年は





菅家 政義 議員

## 桐の里産業(株)について伺う

### 答 ライスセンター運営を含む作業受託を中心に収益向上を目指す

**議員** 農業法人桐の里産業株式会社の今後の運営方向と経営方針について伺います。また、平成二十九年度の決算状況について伺います。

**町長** 大竹議員にも答

弁した通り、引き続き農地を守るため米生産に取組むとともにライスセンター運営を含む作業受託を中心にレタス等の園芸作物、菌床ヒラタケによる冬期間の収入確保、耕作放棄

地再生によるエゴマ栽培と搾油による商品化などに取り組み、収益向上を目指していきます。経営については、新たに執行役員が就任しましたので、会社の現

状を確認して、生産される農作物の販売方法を検討して頂き、これまでよりも収入を増加させていくことが重要と考えます。経費の削減については今年度必要最低限で

の運営をしてきましたが大竹議員にも答弁した通りです。がなかなか厳しい状況です。更なる経費削減に取り組み、補助金に頼らない会社運営ができるようにしていきます。決算状況については

## 桐の植栽状況について伺う

### 答 実生苗および分根苗の生産を行い、会津桐振興協議会を通じて要望町村へ配布を行った

**議員** 桐の植栽状況について伺います。人件費及び経費等どのくらい使用しているのか伺います。

**町長** 平成二十九年度は実生苗三百二十四本、分根苗九十本の生産をし、町内箇所に合計百

十三本を植栽しました。また三島町、喜多方市、柳津町、金山町、西会津町の五市町村で構成している「会津桐振興協議会」を通じて

して百七十四本を保管しています。現在、町管理の植栽地として「大石田石坂」に百二十五本、「大石田桜峠」百八本、「美坂高原」二十本、「黒男山」二百二十本、「宮下地区」十八本、「道

の駅」二本、「西方森」十三本の合計五百六本を植栽しています。平成二十九年度の経費見込みは、人件費として桐専門員二百七十

賃借料十一万円、委託料七十一万八千円、機械賃借料五万四千円、燃料費六万円、備品購入品五十七万三千円で合計して六百二万五千円です。

習会経費として九十三万円を桐の里産業で受託しています。

要望頂いた町村へ百七十二本を配布を行いました。また次年度用と

下地区」十八本、「道

品費六十五万円、土地

この他に、福島県補助事業として桐栽培講



長谷川清雄 議員

## 農業法人桐の里産業株式会社の平成三十年度事業方針について

### 答 農作物の確実な収穫による信頼の構築を図る

**議員** 平成三十年度四年目を迎える桐の里産業株式会社（以下会社）の来年度の会社運営について伺います。

①社員は何名で運営していく予定か。

②水田作付面積はいくらか。

③水稻の苗は自社で育苗するのか。

④エゴマ等の栽培、加工、販売（六次化）について具体的にどのようなようにしていくのか。

⑤補助金に頼らない会社経営を目指すと言っているが、具体的にどのような経営を行っていくのか。

**町長** ①社員募集については現在継続中ですが、昨年と同程度の五

名での運営を考えています。

②5haの作付を予定しています。

③現状では育苗するまでの余裕は無く、当面は購入となります。

しかし三島町内での農業者の方々との連携による育苗等について検討していきます。

④平成三十年度は大登地区再生農地に5haを作付する予定です。

加工については今年度整備しました搾油施設を使用したエゴマ油の生産に加え、会津地鶏と合わせた商品開発については大学との連携により進めていきます。エゴマ製品販売に関しましては、先行し

て販売しているエゴマ商品が多数あるので、商品が重複しない販売先の確保を行い、また

三島産エゴマを原料として購入頂ける飲食店や加工関係機関との関係構築を目指し、三島

町産エゴマをPRできるように取り組みをしていきます。

営は、やはり基本は農作物をどのように収入に変えていくかということだと思っています。現状は出荷先を確保し最低限の収入となつていますが、確実な作業と収穫により信頼を構築しながら通常価格より高い金額で流通させることが収入を上げる方法であると思います。

更に、観光協会と連携し、現在事業化しているツアーの実施団体として観光客の受入れをし、農産物収入以外での収入確保を目指し、補助金に頼らない会社運営を目指していきます。



美坂高原で栽培されていたエゴマ

## 町営住宅の今後の整備運営について

### 答 課題を解消し早い段階での整備を目指す

議員 上ノ原町営住宅

は建設から約五十年が

経過し、老朽化と衛生

面、さらに入居者が高

齢で家賃も低廉で他に

転居しづらい等の問題

点を町当局は提起して

いる。また、中平住宅

は建設から約三十年が

経過し、生活様式の変

化による畳敷きからフ

ロリングに変更や風呂

釜、風呂釜、照明設備

等の問題点を提起して

おり、今後いろいろな

整備改善運営計画を実

施することとなると思

うが、具体的な運営方

針を伺います。

町長 当町の町営住宅

は、「町営住宅等条例」

及び「特定公共賃貸住

宅条例」で住宅を管理

しています。

町営住宅等条例で管

理している、中平・上

ノ原・中田・米子沢住

宅は月収十五万八千円

以下の方が対象で、毎

年、入居世帯の所得に

より家賃が決定されま

す。

一方の特定公共賃貸

住宅条例で管理してい

る宮下居平（世帯用・

単身用）・子育て支援・

若者単身用住宅は、月

収十五万八千円以上の

方が対象で、家賃は条

例により決定していま

す。

議員ご指摘の住宅の

運営方針については、

若者及び単身用として

若者単身用・宮下居平

単身用 計十二戸、世

帯用として中平・上ノ

原・中田・米子沢・宮

下居平世帯用・子育て

支援住宅 計五十八戸

で運営していきます。

整備方針としては、

上ノ原住宅は昭和四十

三・四十四年度に国の

補助を受けて建設し、

現在は六戸が入居して

います。残りの十戸に

ついては新たな募集を

せず政策空家として管

理し、建設後約五十年

を経過しているため現

入居者が退去した場合

は新たな募集をせず取

り壊す予定でした。し

かし今年度「福島県移

住促進仮設住宅提供事

業」が創設され課題で

ある上ノ原住宅の解消

に取組むためこの事業

を申請し、仮設住宅資

材の提供を受けて、新

たに六棟十二戸を平成

三十・三十一年度の二

カ年で整備します。

中平住宅は平成元・

二年度に国の補助を受

けて建設し約三十年が

経過しています。しか

し、住宅内部の結露に

よる湿気や浴槽・風呂

釜設置の個人負担と生

活様式の変化に伴いこ

れらが課題となってい

ましたので、平成二十

九年度よりフロアリン

グ化をはじめ湿気対策

等の改修を現入居者が

退去した部屋より実施

し、早い段階での整備

完了を目指します。



リフォームされた中平住宅





矢澤 昇 議員

## 平成二十九年生活工芸アカデミーについて

### 答 技術研鑽、定住支援として伝承制度を設け定住に繋げる

議員 生活工芸アカデミー第一期生（四名）は三月二十日をもって終了する訳ですが、この制度は町に定住していただくことが目的の

ひとつで、何名の方が定住を希望しているのか。

また三十年代の申込みは何名か。

町として、アカデミー終了後の技術の研

鑽、定住支援として伝承制度を設け定住に繋げていきたいと考えます。

第二期生となる平成三十年度の受講生は十

## 三島町単身用住宅について

### 答 平成二十九年は町のみの応募となった

議員 若者単身用住宅の入居者はあるのか。

また、他町村の申込みはどうか。

町民の申込者はいる

のか。また、他町村の「三島町若者単

身用住宅」は平成二十八年より整備し、平成二十九年は七戸に

対し十四名の応募があり、うち二名が申込みを辞退しました。その後、入居条件を満たす方々を抽選しました。平成二十九年度は五戸に

## 旧道（R二百五十二）の管理について

### 答 道路サポート制度を活用し地区で実施

議員 高清水地区内のR二百五十二の旧道は

県より払い下げられ町

が、現在荒れ放題になっています。町は定期

的に草刈りなどの管理を行うことを考えてい

るのか伺います。

町長 議員ご指摘の旧国道二百五十二号は、町道高清水線として国道二百五十二号交差点から旧高清水橋までの

間を管理しています。管理状況は、沿線に住宅地も無いため、管理上の優先順位は低い状況です。数年前に道路上に落ちた枝や土砂等

あり、四名の方が入居しました。応募者の居住地の状況は、平成二十八年度は県外より二名、町外より八名、町内より二名の応募でしたが平成

二十九年は町内のみ

でした。

の撤去を実施していき  
ますが、今後その都度  
の対応となります。

定期的な草刈り等に  
ついては、高清水地区  
で実施して頂いており  
ます道路サポート制度  
等を活用し、地区での  
実施をお願いします。

## 里山林整備事業について

### 答 「地域資源循環システム」の構築を図る

**議員** 高清水地区で実  
施しました間伐や刈り  
払いにより地区内が明  
るくなり鳥獣の被害が  
少なくなったように思  
われます。間伐によつ  
て出た残林を利用する  
事ができないか町の考  
えを伺います。

**町長** 町は町内の森林  
資源を活用するため  
「間伐補助」や「薪ス  
トープ購入補助」「施  
設への薪ストープ導  
入」などの事業に平成  
三十年度より取り組ん  
でいきます。

この事業の燃料とな  
る木材資源については  
未制定であります。が、  
町民の方々に自らの森  
林資源を「薪」等にし  
て提供して頂き、それ  
を町が買い取り、地域  
で使用できる「通貨」  
や「商品券」などでお  
支払するという「地域

資源循環システム」を  
構築する予定です。  
議員ご指摘の高清水  
地区残材については、  
この制度が確定しまし  
たら町内に案内します  
ので、地区で活用頂き  
ますよう議員からもご  
指導をお願いします。



里山林整備事業で整備された森林

## 温泉施設ひだまりについて

### 答 ポンプの維持管理に努める

**議員** 私も温泉施設ひ  
だまりを利用していま  
すが、利用者から洗い  
場の台が狭いのでセッ  
ケン等が落ちてしまう

など、いろいろな不満  
の声が聞かれます。ま  
た、湯が止まったりし  
たことも実際に何度か  
あり、町はポンプ等定

期的に点検しているの  
か伺います。  
**町長** 三島町多目的集  
会施設ひだまりは、法  
人みしまに指定管理を

お願いしており、施設  
や設備の修繕等はその  
都度指定管理者より報  
告や相談を受けながら  
対応しています。環境  
整備については利用者  
の声を聞きしながら  
より快適にご利用頂け  
るよう指定管理者との  
連携を密に努めていま

す。  
お湯が時折止まるの  
は、ポンプでくみ上げ  
る際に自然のエアが  
混入してしまうことが  
原因で、現設備はエア  
ー抜きではありません  
が、現在稼働している  
若者単身用住宅消費の  
設備整備と併せてエア

ー抜き対策を予定して  
います。またポンプの  
維持管理を含め安定し  
た温泉供給に努めてい  
きます。



二瓶 俊浩 議員

## 国民健康保険について

### 答 重症化傾向にある対象者の把握、指導を行うとともに医療費の抑制を図る

**議員** 国民健康保険の運営主体が四月一日より市町村から県に移るのに合わせ、県は医療費と保険料の抑制に成果をあげている市町村

平成二十八年度決算において約一千二百万円の収入未済額がありましたが運営移管に伴いどのような対応になるのか伺います。

に特定健診や特定保健指導等の受診率などの八項目を評価指標として点数化して、支援金を配分するとの事です。

**町長** 国は平成二十七年に医療費適正化に向けた取組等に対して支援を行う「保険者努力支援制度」を創設しました。これは、保険者の努力を評価し、県・市町村に対し予算の範囲内で支援金を交付するものです。

当町としてもいろいろな施策や取り組みをして健康増進、保険料の抑制に力を入れてきましたが、この評価指標に照らし合わせどのような状況にあると考えるのか。また、医療費抑制に向けてどのように健康増進対策に取り組んでいくのか伺います。

平成二十九年度の実績見込みに基づき、平成三十年度保険者努力支援制度の重点八項目における町の見込み状況を点数化したところ、一つ目の特定健診

の受診率向上が五十点満点中五十点。二つ目の特定保健指導の受診率向上が五十点満点中三十点。三つ目の糖尿病性腎症重症化予防の取組が百点満点中百点。四つ目の個人へのインセンティブ提供が七十点満点中七十点。五つ目の後発医薬品の促進の取組と使用割合が七十五点満点中二十点。六つ目の収納率向上に関する取組が百点満点中四十五点。七つ目の重複服薬者に対する取組が三十五点満点中三十五点。八つ目の第三者求償の取組が四十点満点中五十点となり、最終的に五百二十点満点中三百五十五点

で、県内順位七位となり高い評価となりました。その結果、三十年間において八十五万円の支援金が交付予定となつています。点数が低い項目においては今後も改善に取り組んでいきます。

「医療費抑制に向けた健康増進対策への取り組みについて」における当町の課題は、日常の生活習慣から起こりうる生活習慣病、いわゆるメタボリックシンドロームや糖尿病の重症化で、糖尿病が重症化すれば糖尿病性腎症、透析、虚血性心疾患などとなると医療費の負担が大きくなります。重症化を予防する

ためにこれまでどおり健診の結果に基づいた保健・栄養指導を継続させ、併せて健診未受診者への受診の勧奨を行い、重症化傾向にある新たな対象者の把握、指導を行うことにより対象の方が健康な状態を保ち維持することが結果的に町民のしあわせ、医療費の抑制に繋がります。

健康増進対策については、各地区の「健康を守る会」等で減塩・減糖を勧め、野菜摂取量を増やすなどの望ましい食生活の確立を目的とした料理教室や、体内筋力を増加させ摂取カロリーを消費しやすい代謝のよい身体づくりに努めていきます。

収入未済額の対応については、四月より市町村運営から都道府県運営に移行しますが、保険税率の決定、賦課、徴収についてはこれまで同様に市町村が行うため、特に変更となる点はありません。議員ご指摘の収入未済額はそのまま残りますので、今後も平等かつ公平のため適切な徴収に努めていきます。



# よい歯の学校（三島小）について

## 答 学級担任および養護教諭が昼食後に歯みがきの指導を行っている

議員 三島小学校は過去に二回「よい歯の学校」日本一に表彰された記憶があります。それは大変素晴らしいことであり、伝統は守っていかねばならないと思います。

しかし残念ながら現



在当町には歯科医院がありません。むし歯等を抑制することは子供たちを守るための重要な施策のひとつであると考えます。教育委員会や学校はどのような指導または対策をしているのか伺います。

教育長 議員ご指摘のとおり三島小学校は全

日本良い歯の学校表彰を平成八年と平成十九年の二度にわたり「最優秀賞・文部科学大臣賞」受賞し、その他にも特別表彰・優秀賞等を受賞しています。これは学校・学校歯科医・保護者が一体となつて歯・口の健康づくりに取り組んできた成果であり、その考えは現在も継続しています。



長年、当町の学校歯科医を務められた栗城先生が亡くなり、歯科医院が閉院してからは柳津町の二瓶先生に学校歯科医としてご尽力いただきました。今年

度から金山町国保診療所の市川先生に学校歯科医に就任していただき口腔ケアに取り組んでいます。

現在の指導、対策等は五月と十月の年二回歯科検診を行い、虫歯のある児童・生徒については早期の治療を促すとともに、昼食後の全校歯磨きに取り組んでいます。

昨年十月時点で、う歯（虫歯）率を見ますと、小学校三十四名中十一名で三四・四％、中学校三十一名中三名で九・六％で、小学校でやや高い状況となっています。

これらの結果を踏まえ、小学校では学年別に重点目標を掲げ、学

級担任と養護教諭が昼食後に歯磨きの正しい方法を指導し、磨き残しのある児童に対しては養護教諭が個別指導を行っています。

また家庭に対しては、保健だより・学級だより等で虫歯予防の啓発に努めるとともに、生活リズム調べで家庭の歯磨き等の状況を把握し、連携を図っています。さらに六月には「良い歯の教室」を開催し、良い歯の児童表彰や「良い歯の標語の募集」、「歯に関するクイズ」等を実施し、虫歯予防に関する意識を高める取組みを行っています。

中学校においては昼食後の全校歯磨きやカ



ラーテスターを使用した歯磨き指導、生活リズム調べの結果による個別の保健指導を実施して虫歯予防に努めています。



小柴 正洋 議員

## 少子高齢化について

### 答ふるさとと自分に誇りを持てる人づくりの教育に取り組む

議員 今、少子高齢化社会であることは、皆知るところです。メディア、書店などでは将来の危機感をあおるだけのものが多く、不安に噴<sup>さいな</sup>まれておられる方もいるでしょう。一方で、まったく無関心で「将来の話をされても、私はその頃には生きていないので」と言う方も多くおられます。わが町は超高齢化自治体であり、社人研推計の人口推計データをみれば、三十年後、

町の人口は四百人代となる。このデータだけでも町の方々は後者の「将来の話をされても…」になり、無関心にならざるをえないので

しょう。町の創生総合戦略でも三十年後の人口は七百人である。今後、どんなに対策を講じようとも人口減少に歯止めはかけられない。日本創生会議の人口減少問題検討分科会は二十年後、全国の自治体の半数が消滅の危機にさらされると公表した。このような動向に三十年後わが三島町は消えずにいるのか無関心ではいけない。そこで、いくつか伺います。

町長が想う三十年後のわが町は内実のところで、どうなっているのか伺います。

町に住むため住み続けるため、余力のある

内に病院、介護施設、保育所、学校、ガソリンスタンド、スーパー、コンビニ、タクシー、バス等の施設、事業の充実、確保を図っていたきたい。

つのか。今の三島に残された資源と言えるのは、もはや人しかいない。その人を育てる教育こそが今後、町を維持するために最重要対策事業とすべきである。少子化ゆえに個々の能力を活かし、力強く生きられるような教育をすべきです。町の総合戦略にも教育事業はあるが、その教育は町に残り活躍してもらうとするものです。町の考えもわからなくはないが、それでは、こ

ようか。三十年後をみると時に山ぶどうや桐で町は維持ができています。のか。採りつくされた資源（山ぶどう等）で三島ブランドはなりた

ければ、その人達が町の広告塔となり、必ずや還元し実ることになる。このたびクラウドファンディングを利用し町おこしの起業をした方がおり、この方法はとてもすばらしく、夢をみんなに応援してもらうもので、中には地下アイドルからメジャーデビューした方もいます。このような方法を知らないか。で大きく差がでます。

要は教育に分野はこだわらず、広く世界の情報や知識を取り入れ、力強く生きる術のたずきを与えられるように学校、役所のみならず町全体がアドバイザーになることです。そこ

で、役所内で人材育成のために専門的なアドバイザーができる部署の設置はできないか。また、三島っ子の想いを伝えるために年一回の子ども議会の開会を要請したいが、いかがか。

町長 三十年後の三島町については、社人研の人口推計によれば二〇五〇年で四百七十四人と想定されおり、町総合戦略では、七百人台まで引き上げる目標を立てるための事業を進めています。果たしてどれだけの地区にコミュニティが存在しているのか、町自体単独で存在しているのか人口規模だけではな

かなかイメージできない状況です。

七百人規模の自治体としては松枝岐村がイメージできますが、やはり中心地にコンパクトに集まった社会となつていてのではないかと考えます。

そんななか社会インフラの整備等については、将来を見据えるとともに、現在の住民福祉の向上のため進めていく必要があります。

議員ご指摘のように町においても社会においても最大の資源は人であることに疑いの余地はありません。人材育成、すなわち教育こそが最重要施策であり

若者定住であると考えます。人口減少を少しでも食い止めるには定住人口、交流人口、関係人口等と言われる中で、最も基盤になるのが定住人口であり、町

に育った子ども達が町に残るか、あるいは一度は町を出ても戻ってきて町の活性化に寄与する事であろうと考えます。そこで町では「第四次三島町振興計画後期基本計画」と「総合戦略」の中で「教育環境整備プロジェクト」に学力向上や人間力育成・キャリア教育の充実を掲げ、「教育振興基本計画」では「ふるさとと自分に誇りが持てる人づくり」を基本理念とし教育に取り組んでいます。

議員ご指摘のように、三島小中学校は少人数のため児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導ができ、個々の能力・個性を存分に伸ばすことができると考えます。将来自分の目指す方向へ進むための学力向上はもちろんのこと、多様な考え方

と視野を持った人間に育てるために他校との交流学習やICT環境の整備、世界を相手に事業展開する町内の起業家（高枝氏）の講話や全国で活躍する方（なすび氏）の講演会等キャリア教育の充実を図っています。

また、三島町についてしっかりと学び、郷土愛を高める教育の一端として三島町の歴史・文化・産業等の郷土学習の充実にも努めております。それらの学習の中で、世界を

舞台に活躍する人材や地元に残って三島を支える人材が育っていくものと信じています。

人材育成の専門的なアドバイスができる部署の設置については人的な問題もあることから設置にこだわら



ずに人材育成、起業のご相談などの対応窓口を町民の方にわかりやすくお知らせする方向で進めていきます。

子ども議会の開会については、子供の意見を聞き町づくりへ反映させることは、子供の政治への関心に結びつくほか、民主主義における物事の決め方を学ぶ絶好の機会であると考えられ、実現に向けて関係機関と協議していきます。

## 町村議会議員研修会

2月1日、町村議会議員研修会がビッグパレットふくしまで開催されました。「地方分権時代の自治体議会改革－自治体議会と地方創生－」と題した明治大学政治経済学部教授 牛山久仁彦氏の講演と、『「3選」『改憲』『アベノミクス』…難題に直面する安倍1強政権』と題した政治ジャーナリスト 泉宏氏の講演を聴講しました。





## 議 会 の 経 過 ・ 日 程

### ▶ 2月 ◀

- 1 日(木) 福島県町村議会議長会町村議会議員研修会(郡山市)
- 5 日(月) 三島町交通安全合同祈願祭
- 23日(金) 議会全員協議会  
議会運営委員会  
早戸温泉つるの湯企業組合通常総会
- 25日(日) 若松三島会(会津若松市)
- 27日(火) 福島県町村議会議長会第2回定期総会(福島市)  
両沼地方町村議会議長会定期総会(福島市)
- 28日(水) 三島町史編さん委員会

### ▶ 3月 ◀

- 1 日(木) 福島県立川口高等学校卒業証書授与式  
三島町生活工芸品展審査会
- 5 日(月) 第1回議会定例会(～9日)
- 13日(火) 三島中学校卒業証書授与式
- 16日(金) 三島町生活工芸品展表彰式
- 17日(土) 全国編み組工芸品展表彰式
- 20日(火) 三島町生活工芸アカデミー修了式
- 23日(金) 三島小学校卒業証書授与式
- 26日(月) 会津若松地方土地開発公社理事会(会津若松市)
- 27日(火) 奥会津五町村議会議長連絡協議会総会・要望活動(東京都)  
三島保育所満了式
- 29日(木) 両沼地方町村議会議長会監事会(会津坂下町)

### ▶ 4月 ◀

- 2 日(月) 教職員着任式
- 4 日(水) 三島保育所入所式  
柳津町・三島町学校給食センター開所式(柳津町)
- 6 日(金) 三島小・中学校入学式
- 9 日(月) 両沼地方町村議会議長会臨時総会(会津坂下町)  
福島県立川口高等学校入学式(金山町)
- 18日(水) 早戸交流拠点施設(早戸温泉つるの湯)湯治棟完成披露式
- 22日(日) 三島町消防団春季検閲式
- 23日(月) 三島町老人クラブ連合会総会
- 24日(火) 荒屋敷遺跡出土品の国重要文化財指定に伴う東京国立博物館展示物視察(東京都)
- 25日(水) 会津総合開発協議会総会  
会津総合開発協議会会津若松方部会総会(会津若松市)
- 27日(金) 第1回議会臨時会



保育所入所式

## 議会傍聴においでください

6月議会は  
**6月中旬**に開催予定です。

議会傍聴の手続きは簡単です。役場2階傍聴席入口で住所と名前を書くだけです。

## 編集後記

今年の冬は豪雪に見舞われましたが、三月に入り暖かい日が続きました。雪解けも早く、桜の開花もいつもより早いようです。この議会だよりが届く頃には桜の花も満開かもしれません。

これから農繁期を迎えますので健康に留意してください。

町民の皆様方が安全、安心に暮らせるよう願っています。

(矢澤 昇)

### 議会広報編集委員会

編集委員長 小 柴 正 洋

編集副委員長 青 木 喜 章

編集委員 大 竹 克 昌

〃 矢 澤 昇

〃 長谷川 清 雄

